

平成27年度指定管理者モニタリング評価表

施設名	羽咋市老人福祉センター		
指定管理者	羽咋市社会福祉協議会		
住所	羽咋市鶴多町亀田17番地	選定方法	公募
指定期間	平成23年4月1日～平成28年3月31日		
指定管理料	12,600千円(平成27年度決算額)		
評価担当課	地域包括ケア推進室		
年度重点目標	各町で運営しているサロン等への積極的な呼びかけや、新講座を企画するなど新規利用者の開拓を行い、来館者の増加を図る。		

評価項目	評価する内容の詳細	評価		確認方法	備考
		中間	年間		
1 職員配置などの実施体制	仕様書・事業計画書どおりの人員配置がなされているか。	A	A	現地	勤務日誌確認、出勤簿は社協にて保管
	事業計画書に則した職員研修が実施されているか。	A	A	現地	社協全体で年2回実施 ・6月個人情報 ・1月ストレッチ方法
	指定管理業務の全部、又は主たる業務を再委託していないか。(届出済みの業務委託部分は除く)	A	A	現地	すべての再委託については市へ届出をしている
2 施設、設備及び備品の維持管理の状況	仕様書等に基づき適正に維持管理業務が実施されているか。	A	A	現地	管理台帳確認
	整理整頓・清掃がなされており、植栽等についても美観を損なっていないか。	A	A	現地	・年4回利用者が奉仕作業 ・大広間は職員で清掃
	法定保守点検について、点検内容、時期等が法令基準に基づき実施されているか。	A	A	現地	管理台帳確認
	保守点検において、異常が認められていた場合、また、修繕が必要な箇所が見つかった場合、適切な処置が実施されたか。	A	A	現地	管理台帳確認
	備品等に過不足がなく、適正に管理されているか。	A	A	現地	管理台帳確認、H27座敷チェア取得
3 サービス向上への取組状況(アンケート調査による意見及び対応は項目9に)	ホームページなどで積極的に情報提供が行われているか。	A	A	現地	社協だより、ホームページ、各種チラシ、ケーブルテレビなどで行事等の啓発
	特定の利用者を優遇したり、法令に基づく手続を経ることなく、利用を制限している事例はないか。	A	A	現地	各教室の利用者で認知症の方については、職員及び各教室の協力で利用を継続している
	利用者に対して満足度について調査(アンケート・意見箱の設置等)を行ったか。	A	A	現地	7月実施済
	苦情・トラブルに対し、適切・迅速に対応しているか。	A	A	現地	苦情だけでなく、各種要望に可能な限り対応
4 防犯・防災対策の取組状況	緊急時の連絡体制は整っているか。避難訓練等は実施されているか。	A	A	現地	年2回実施予定
	リスクに応じた保険等に加入しているか。	A	A	現地	施設、バスに関する損害保険は市で加入 行事対応は社協

評価項目	評価する内容の詳細	評 価		確認方法	備 考	
		中間	年間			
5	個人情報保護の措置状況	個人情報とは適正に管理されているか	A	A	現地	ロッカーに施錠して保管
6	経理の執行管理状況	団体のその他の事業との区分を明確にし、適正に経理処理が実施されているか。	A	A	現地	書類関係は社協にて保管 経理は区分けして処理
		収支計画書と大きな隔たりはないか。ある場合は、その原因は何か。	A	A	現地	なし
		定められた料金を適正に收受しているか。	A	A	現地	利用料金については別紙参照
7	施設利用状況	前年同期と比較し、利用者数・施設稼働率等に著しい差異がないか。ある場合は、その原因は何か。	A	A	現地	弁当持参による毎日利用者の減少
8	市への報告体制の確保	月例報告・実績報告・その他必要な報告が適切に提出されているか。	A	A	書類	3ヶ月に1度月報提出(3ヶ月分)
9	アンケート調査意見及び対応	アンケートで希望の多かった通信カラオケを導入して、カラオケだけでなく脳トレなどに利用している。				
10	今後、検討・調整が必要な事項	<ul style="list-style-type: none"> ・新規利用者の増加のため、講座内容の検討が必要。 ・今後も効率的、効果的な施設運営に努める。 				
11	今後の管理方針	利用者が高齢になり、利用度が減ってきているので、曜日で目玉になる事業を計画し、新規の利用者の増加に努める。				
総合評価	中間評価		年間評価		平成26年度	平成25年度
	A		A		A	A